

2021迎春

特集 望月弘子名誉会長を偲ぶ

キャプション



笑顔 スナップ

武川病院看護科

患者さん本位の看護を提供するため、地域とも連携をとり「患者さんに寄り添う」ことを心掛けています。



病棟看護スタッフ



外来看護スタッフ



手術室スタッフ



チームカンファレンス

Contents

新年を迎えて 山梨県看護協会長 古屋玉枝	— 2
特集 望月弘子名誉会長を偲ぶ	— 3~9
都留市立病院 分娩再開の取り組み	— 10
シリーズ災害対策	— 11
特集 コロナに負けるな いま私たちにできること	12~13
うちの職場自慢 その61	— 14
シリーズ 看護研究のコツ No.22	— 14
ナースのママ・パパ奮闘記 No.48	— 15
令和2年度 理事会報告	— 16
INFORMATION／編集後記	— 16

山梨県看護協会への
入会手続きはお早めに!!



新年を迎えて



「新しい生活様式」を実践しながら 期待される看護の役割に応えていこう

公益社団法人 山梨県看護協会
会長 古屋玉枝

令和二回目の新年を迎えました。

昨年、新年早々から新型コロナウイルス感染症に見舞われ、その拡大とともに世の中の在り様に変化し、三密を避け、ソーシャルディスタンスを取り、マスクの着用、手洗いの励行を遵守し、いかに感染拡大を防止するか真剣に取り組んだ一年でありました。

「新型コロナウイルス感染予防対策(山梨県看護協会版)」を作成し皆さまのご協力のもと7月からは、変更・縮小しながらも研修等を実施してきました。そのような中、令和2年度新規事業として計画した活動の進捗状況は次のとおりです。

①看護師のクリニカルリーダーの推進に向けた情報交換会の実施

新型コロナウイルス感染防止対策として中止し、メールで各施設の取り組み状況の調査を実施しました。

②小児訪問看護師育成研修は山梨県事業の委託を受け、10月8日のTSM養成研修「小児在宅療養児の理解とトータルサポート」に小児訪問看護師希望の3人が合流し学びを深め、訪問看護ステーションで小児訪問看護の実際を体験しました。

③看護職の健康と安全に配慮した「労働安全衛生ガイドライン」ヘルシーワークプレイスの施設への周知については、「コロナ禍」にあり具体的な活動は見合わせている状況です。

④看護師基礎教育の4年制化の促進

県内看護師養成施設(専門学校)へのヒアリング・情報交換会の実施を計画しましたが、県内看護専門学校4校へのヒアリングを実施し、情報交換会は新型コロナウイルス感染防止対策として中止しています。

⑤県民向けリーフレットの活用

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から県、関連団体等の様々なイベント等が、中止となり周知の機会がありませんでした。

令和2年度の新規事業は、来年度に向けての準備期間と位置づけ取り組みを続けています。看護協会事業を円滑に推進するために役職員一丸となって「新型コロナウイルスに感染しない・させない」を励行・感染予防対策を遵守し、看護職の拠って立つところの看護協会の認識を強くもち、会員の皆さまのご理解、ご協力、ご支援をいただき歩んでいきます。

長年の目標であった会員数5,800人(平成28年12月末総就業者数10,800人の53～54%)を目指して会員の増加に取り組んできました。平成30年12月末総就業者数は11,187人となり、令和2年11月1日会員数5,840人よって52.2%から54%を目標にさらに多くの看護職の入会をお願いいたします。会員増、組織強化を図ることがより社会への発信力の強化につながります。また、看護協会の政策実現に向けては看護連盟への入会が非常に大切です。皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

ここ数年来、看護への期待は高まるばかりです。その期待にしっかりと応えられる看護職一人ひとりでありたいと同時に看護専門職能団体であり続けたいと思います。

望月名誉会長はじめ、諸先輩方が築き育ててくださった組織を皆さまのご理解、ご協力、ご支援のもと発展させていきたいと念じています。

令和3年が穏やかな年になりますように。

皆さまのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

本年もよろしくお願いいたします。



❖ 望月弘子先生を偲ぶ ❖

山梨県看護協会名誉会長

故 望月弘子儀

令和2年6月29日 享年90歳

慈燈院愛育弘智大姉



実行委員長 の言葉



山梨県看護協会名誉会長 望月弘子先生を偲んで…

今年、令和3年(2021年)は、看護協会創立75周年・現会館(看護教育研修センター)竣工20年となります。

昨年6月29日にご逝去されました望月弘子先生(戒名 慈燈院愛育弘智大姉さま)の一周忌となります。昨年11月3日に偲ぶ会を執り行い、多くの方々と望月先生の功績・お人柄・お教えを偲び、深く心に刻み込みました。

地域・病院・施設・教育等の多岐に亘る看護の現場で、今を生きる看護職(保健師・助産師・看護師・准看護師)に望月先生をさらに深く知っていただき、後世に語り継がれますように、この追悼頁をお届けします。

看護協会(看護教育研修センター)内、リフレッシュルームに望月弘子名誉会長のお姿、机、座られた椅子、アルバムなどを展示したコーナーを設けました。

皆さまとともに後世へ語り継いでいきたいと存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。

望月弘子 経歴

生年月日：昭和5年11月4日

没：令和2年6月29日（享年90歳）

学歴

- 昭和22年3月 山梨県立山梨高等女学校 卒業
- 昭和23年3月 山梨県立女子厚生学院保健婦学科卒業 助産婦学科 修了
- 昭和31年3月 国立公衆衛生院正規看護学科 卒業

職歴

- 昭和23年4月 山梨県衛生部公衆衛生課勤務
- 昭和24年4月 保健婦5ヵ月養成講習会専任教員
- 昭和28年8月 山梨県甲府保健所保健婦
- 昭和30年5月 山梨県立高等看護学院 保健婦学科専任教員
- 昭和34年8月 山梨県厚生部医薬課看護母子係
- 昭和38年5月 山梨県日下部保健所普及係長
- 昭和40年9月 山梨県大月保健所普及係長
- 昭和42年5月 山梨県小笠原保健所普及係長
- 昭和45年4月 山梨県甲府保健所普及係長
- 昭和48年4月 山梨県立高等看護学院教務主任
- 昭和54年4月 山梨県厚生部医薬課副主幹課長補佐・主幹課長補佐・衛生指導監
- 昭和61年4月 山梨県立高等看護学院副院長
- 昭和63年10月 山梨県厚生部参事・高等看護学院副院長事務取扱
- 平成元年3月 山梨県定年退職
- 平成5年4月 山梨県厚生部医薬課看護短大・看護大学設置準備室非常勤嘱託

民間団体歴

- 昭和25年4月 日本看護協会保健婦部会山梨県支部書記長
- 昭和54年4月 日本看護協会保健婦部会山梨県支部副支部長、支部長・顧問
- 昭和48年3月 山梨県看護協会常任理事
- 昭和59年5月 日本看護協会保健婦職能委員長
- 昭和61年6月 山梨県看護協会理事
- 昭和63年5月 日本看護協会保健婦職能理事
- 平成1年4月 山梨県看護協会事務局長
- 平成1年6月 山梨県看護協会専務理事
- 平成5年5月 日本看護協会副会長
- 平成5年6月 山梨県看護協会会長
- 平成6年12月 日本訪問看護振興財団理事
- 平成15年6月 山梨県看護協会名誉会長・医療法人笹本会顧問
- 昭和41年10月 山梨県愛育連合会参与
- 昭和58年5月 恩賜財団母子愛育会推進本部参与

その他・公職・審議会歴 多数

受賞歴

- 昭和45年4月 恩賜財団母子愛育会会長表彰
- 昭和51年5月 日本看護協会会長表彰
- 昭和60年11月 大同生命厚生事業団医学研究学術賞
- 昭和62年5月 厚生大臣表彰(看護事業功労)
- 平成4年10月 山梨県知事表彰(高等看護学院創立40周年)
- 平成5年4月 恩賜財団母子愛育会総裁表彰
- 平成10年11月 社会貢献者賞
- 平成13年11月 県政功績者表彰
- 平成14年10月 甲府市市政功労者表彰
- 平成16年4月 旭日小綬章受章
- 令和2年10月 正六位を授かる



平成16年4月29日 旭日小綬章受賞



先生の好きな花「矢車草」

看護協会の詩

作詩：望月 弘子（昭和23年12月5日）

一 平和の日本の礎を
医療の真心で
築くまでしこうるわしく
集いて咲けるわが協会

二 病める身かばう看護婦も
病魔を防ぐ保健婦も
産土の神助産婦も
競いて集える我が協会

三 互いに修行錬磨して
知識を廣め技術を磨き
明日の日本を朗に
導き集わん我が協会

四 大和おみな雄々しくも
担いて立ちし大使命
いざや進まん手をとりて
行くて輝く我が協会

望月弘子先生のお言葉

私を看護協会活動にかりたてたもの

人は何かのきっかけが運命的な出会いになることがある。昭和23年、敗戦によるGHQの指導により、日本の社会的地位の低かった看護制度の画期的な改革があり、保健婦助産婦看護婦法が制定された。そのことにより、昭和24年に、県衛生部医務課に保健婦助産婦看護婦係が設置され、保健婦の係長が発令された。

この年、私は保健婦として県に就職した。したがって、日本の看護制度と共に歩んできたことになる。私は、衛生部の所轄である県立女子厚生学院と保健婦規則第8条に基づき5か月保健婦養成講習会を担当した。当時は保健師の地位は最低で、だれにも話せない憤りが私を保健師活動にのめりこませ「看護が社会的に評価される」その日のために挑み続けた改革の年月であった。

これからの看護協会運営は会員の自治で…

新看護教育研修センターをみんなの力で建てました。看護の社会的評価を求めて挑戦し続けてきた歳月。それは自己の価値観への挑戦の日々でもありました。そうした中で、今後に向けて考えてみると、看護の自立を支えるフィロソフィーをもつこと、看護の思想を具現化することは最善の配慮の中でその人にあった良質の看護が提供できること、であると思うのです。

また、各人の持てる力を引き出してお互いが育てられる環境を作ることも大切な要素だと思います。看護教育研修センターの運営も、これこそ会員の自治が基本です。

私は、多くの会員や関係者に支えていただき育てられ、今日を迎えることができました。

若きみなさまに一言。感性がみずみずしい時に、本物に触れてほしいと常々考えております。

平成15年9月27日

山梨県看護協会会長退官記念講演

生き方のモットーは、信・愛・敬

私は、長い間「看護の社会的地位を高めたい」という一心で活動してきました。

今、社会の変化は目まぐるしく、看護への期待も多様化・複雑化し、困難性も増えています。そのような状況の中、改めて「看護とは」について考えてみました。私は幼い頃から母に「世の為、人の為になるような人間になるように」と言われて育ちました。

その頃は、よく理解できずにただ母の日ごろの生活の仕方や、人々への対応の様子を見ていただけでした。長ずるに従い、母の心の基にあったのは、人間に対する信頼であり、愛であり敬意であったのだと理解するに至りました。世の中がどのように変化しようとも「看護」は、その人に向かい合い「信・愛・敬」という人間への目差、つまり心の姿勢を核にして、科学的根拠に基づいた確かな知識と卓越した技術を駆使して、問題解決へ向けて共に活動していくことであると考えています。着実な活動に期待しています。

看護協会ニュース 令和2年新春号 名誉会長挨拶

看護協会NEWSバックナンバー Vol.113(H31.1)・Vol.110(H30.1)もご覧ください。ホームページからでもご覧になれます。

望月弘子先生賛歌

望月弘子先生の活動をあげれば枚挙にいとまがありませんが 特筆すべきは

- 社団法人 山梨県看護協会を創り、育て、発展させたことでしょう。保健文化賞を受賞した活動です。
- 昭和51年と平成13年の二回、看護会館を建設するという偉業も成し遂げました。

常に時代の要請に応え、時代に先鞭をつけた、先見性のある活動です。私たち、山梨県下の看護職員に誇りと拠り所を与えてくれるものでした。

「私がいなくて誰がする…」

先生の生涯をつらぬいている強い信念です。テレビや映画を観て涙する心弱い人、小さきものに寄せる熱い心先生の中で、それらは全て同根です。

だからこそ、先生の周囲に人は集まり、心をつ一つにして不可能が可能になる大きなエネルギーを作り出すのです。

先生のことを考えるとき、私はいつも高村光太郎の詩「道程」の一節を思い出します。一僕の前に道はない。僕の後に道は出来一

常にバイオニア！

進み、創り出し、人を導く…

私の尊敬する望月弘子先生です。

平成15年9月27日

「望月弘子前会長への感謝のつどい」に寄せて
安達 弘子 (当時：山梨県看護協会 監事)

望月弘子名誉会長のコーナー



当協会2Fリフレッシュルームに望月弘子先生のご功績がわかるアルバムや写真など、じっくりと手にとってご覧いただけるコーナーを設けました。どうぞ来館ください。

望月弘子先生を「偲ぶ会」

当協会名誉会長 望月弘子儀、令和2年6月29日 89歳の生涯を閉じられ、7月5日に家族葬が執り行われました。望月弘子先生を偲び、令和2年11月3日、アピオ甲府本館にて、望月弘子先生を「偲ぶ会」を執り行いました。第一部式典へは県内外から親交のあった皆様170人の参列をいただき、午後的一般献花式へは、約200人が献花に訪れてくださいました。



送る言葉 県内外の親交のあった皆さまから、心温まる感動の送る言葉を頂戴しました。



清水 嘉与子様
公益財団法人 日本訪問看護財団理事長
元参議院議員

清水嘉与子理事長は、「体調を崩されてお目にかかれなくなった後も、山梨のおいしい果物を贈ってくださいました。お礼の電話をするといつも明るい声で、元気をもらっていた。安らかにお休みください」と述べられました。



久しぶりに紅葉の甲府に参りましたけれども、それが先生とのお別れの会、とても寂しいです。先生と初めてお会いしたのは、私が厚生省で看護行政をやっている時でした。先生は県の看護行政を担当しておられた、昭和50年代の話ですね。当時、日本の看護というのは、まず質よりは量、足りない、足りない、それが大きな社会問題になっていました。臨床の現場は看護師よりも准看護師がずっと多くて、准看護師に支えられているという時代でした。

厚生省がやっと看護を中心に受給計画を作ろう、看護政策を作ろうということになって、一番問題だったのは、准看護師の在り方でした。どこの県の係長も医師会の先生方との関係で非常に問題があったのですが、先生はそういう時にでも、堂々と、堂々と、その問題を解決して、がんばっておられました。その姿がとても印象深く思われます。

その後、私は18年間、参議院議員をやりましたけれども、その間は、先生は看護協会の役員、あるいは、山梨県看護協会の役員として、大変お世話になりました。

研修会が終わるといつも先生は、今流れていた“星影のワルツ”、みんなで手をつないで歌って下さいましたね。今日、この参加されている人達も懐かしく思い出している人達がいっぱいいると思います。

日本の看護をグッと動かしてくださった先生の功績は訪問看護です。先生は山梨県の看護協会の役員として、知事さんに「訪問看護の制度化を早く」という要請をしてくださり、そして現実問題として、モデル事業を行い、そして山梨県で訪問看護を実際に進められました。この功績がみつめられて、保健文化賞も受けられましたよね。あの時の先生の笑顔、とっても思い出しますよ。

平成6年に日本訪問看護財団ができました時に、先生は、その発起人として、理事として、がんばってくださいました。平成20年まで先生は、私達にご指導くださいました。

体調を崩されて、中々お目にかかれなくなった後も、先生からは、いつも盆暮れに、山梨県の美味しい“カキ”などを沢山送っていただきました。今日いろいろお話していましたが、私も私もって人がいっぱいいたのですね。先生、大変でしたね。でもとってもありがとうございます。そしてお電話でお礼を申し上げると体調を崩していたにもかかわらず、いつも明るい声で元気をくださいました。先生からはいつも元気とエネルギーをいただいていた。ずっといただき続けたい。そういう先生でした。先生、本当にありがとうございます。どうぞ安らかにお休みください。ありがとうございます。



南 裕子様

神戸市看護大学学長 元日本看護協会会長
元国際看護師協会 (ICN) 会長

南裕子学長は「導いてくれた大先輩。苦勞をしたときはいつも笑顔を思い出して励まされていた」と 遺影に語りかけました。

望月先生は、こんなふうに真面目な時も目が笑ってらっしゃる。そして口が大きく開いて破顔されて、「南先生、南さん」っていつもお声をかけてくたって、私を本当に導いてくださった。大事な、大事な大先輩であると心から感謝申し上げます。

望月先生に最初にお会いしたのは、先ほど写真の中に出てきた職能の委員長たち3人の南野先生、浅野先生、望月先生の三人の方と、私が副会長の時代でした。有田会長がいらっしゃって、丁度、介護保険制度の検討が始まっていた頃でした。

私は、先生が山梨で偉大な業績をもう積まれてきているということは、いろんな方から伺っていましたが、いつも目の前の先生は、私のような若輩者を暖かく丁寧な言葉で対応して下さい、ご意見をお聞きすると、地元へ深く根差したお仕事をされてきた方なのになって。私はその頃、グローバルにグローバルになって言っていたものでしたので、足元を見なければと思う思いが強くなっていったのを思い出します。

介護保険制度は、制度として、とても大事な制度でしたけれど、看護界にとってはいろいろ不自由なこともあり、そのこともあって看護協会では、有田会長の時も見藤会長の時もいろんなことから紛争がありました。意見の交換も激しくありました。その時、常務理事会の険悪な雰囲気を変えてくださるのは、先生でした。先生のポツと投げたお言葉で、皆がフッと肩の力が抜けて本来の議論に戻ることができました。地に足のついた議論ができるようになりました。

私が会長の時は、協会の会長さんとして、山梨県看護協会の会長さんとして、いろいろとサポートもしていただきました。裏から、「南さん、あれはちょっと無理だよ」というようなこともおっしゃっていただきました。先生が無理ということは、本当に無理なのだな。だけど私は挑戦してみたいと思ったら、先生は「やりたかったら、どうぞやってごらんさい。前を開いていくことに対して、いつも後ろから応援するから」っておっしゃっていただきました。現場をよく知り、地元の看護師さんのことをよく知り、全国の看護師、保健師、助産師のことも職能を超えて解って下さって、アドバイスをいただきました。

国際看護師協会の会長になった時は、もう本当に破顔されて、顔がいっぱい笑顔になられて、「良かった。良かった」と「がんばりなさい」ということをおっしゃっていただいて、心強く思いました。

いろいろな人生には山あり、谷あり、私も苦勞した時には、いつも先生の笑顔を思い出して励まされました。

私は、聖路加時代に先生と出会ったので、星影のワルツを踊るとか、地区別理事会に行っても皆で踊るとかというのは、本当はビックリしました。でも、そのうち一番初めに踊り始めました。先生のご指導が良かったからだと思います。私は、今でも踊れる時は、踊ります。先生のご薫陶によるものだと思います。清水先生もおっしゃいました。

平和の時代、ずっと私は季節の便りをいただきました。いただく前にお電話があって、「南さん、家にいるのはいつ?」とだけおっしゃるのです。「外国に行っていない?その頃は」とか、言われました。そして美味しいおいしい“カキ”だとか、“桃”だとか季節のものをお届けくださって、それでお礼のお電話をすると、その時のお声がとても明るくて、私は、ご病気のことも少し伺っていたのですが、何か、ご病気とのお声につながらなくて、「ああ、まだまだ元気でいてくださる」って思っていました。

今年、“桃”が届かなかったのです。私は、知りませんでした。でも、先生、私はいつも神戸から先生がここにいらっしゃるって思っています。また、これからもお導きくださいますよう、お願い申し上げます。先生、私も必ず向こうへ逝きます。一緒に踊りましょうね。また、ちょっとは上達して喜んでもらえるようになりたいと思います。本当に心から感謝申し上げ、安らかな旅立ちでありましたように、そして今は、心安らかに休んでいらっしゃいますようにお祈りして、挨拶とさせていただきます。



久常 節子様

元日本看護協会会長

久常節子元日本看護協会会長は、望月弘子先生の訃報を耳にしたとき、先生の好きだった「枯葉」の歌が流れてきた。この歌を捧げますと、先生への哀悼の意を込め、独唱されました。参列のみなさまは各々望月先生との思い出を回想し、感動していました。

♪ あれは遠い思い出
やがて消える灯影も
窓辺赤く輝き
光りみちたあの頃
時は去りて静かに
降りつむ落葉よ
夢に夢を重ねて
ひとり生きる悲しさ
木枯吹きすさび
時は還らず
心に歌うは
ああシャンソン 恋の唄

暮れ行く秋の日よ
金色の枯葉散る
つかの間燃え立つ
恋に似た落葉よ
何時の日か抱かれて
誓いし言葉よ
儂くただ散り行く
色あせし落葉
ラララ……
何時の日か抱かれて
誓いし言葉よ
儂くただ散り行く
色あせし落葉





内田 恵美子様

一般社団法人日本在宅ケア教育研究センター代表理事
株式会社日本在宅ケア教育研究所代表取締役



望月弘子先生、先生は変わらず私の中に生き続けております。「先生の生き方は」「私という生き方に」如何ほど影響を与えて下さいましたでしょうか。

「人を助けるということ」「人を生かすということ」「看護を生かすということ」「看護の視点で人や地域を生かすということ」に、こよなく卓越された先生に直接お会いでき薫陶をいただきましたことは、今の私の生き方の支えでございます。

平成元年、日本看護協会で訪問看護開発室長を任じられました際「山梨県看護協会創設の訪問看護事業」その事業が住民に如何に幸福という利益をもたらすか、県市町村への説得、潜在看護職の発掘と再雇用、再教育カリキュラム作りなど、一石を投げられました。その運用方法は、47都道府県に波及する礎となりました。我が国に看護職の手で訪問看護を全国に普及させ、赤ちゃんからお年寄りまで「いつでも・どこでも・誰にでも・24時間訪問看護を届けられるよう」5億円の出捐金を用意し「日本訪問看護振興財団設立と普及」に役員としてバックアップくださいました。現在約1万200の訪問看護ステーションがその目標を実現化しつつあります。

平成14年、私が一社会人として訪問看護事業の経営と実践・研究で再出発したいと「株式会社日本在宅ケア教育研究所」を創設し独立した際にも、役員として経営のご助言、31年間のお導きは、「信頼関係に基づく人の輪づくりによる人や地域を助ける医療や看護」の実践的薫陶でございました。人間関係作りのコンサルタント、エドガー・H・シャイン（米国社会心理学者）は、人を助ける信頼関係は「愛情・思いやり・認識・受容・賞賛・支援」としてありますが、先生は真に自然体で、柔らかいマインドで且ダイナミックにそのまま展開されておられました。今後も望月マインドを深く心に刻み、人や地域を生かす医療や看護、また経営の在り方を模索続けてまいります。ご指導誠にありがとうございました。



福井 トシ子様

公益社団法人 日本看護協会会長
(勝又浜子 日本看護協会専務理事 代読)



勝又浜子 日本看護協会専務理事は、日本看護協会 福井トシ子会長の送る言葉を代読をされました。

望月弘子先生、望月先生の訃報に接し、わたくしどもの悲しみはこのうえなく、非常に残念でなりません。望月先生が残された数々のご功績を顧みるにつけ、かけがえのない方を失った哀惜の念に堪えない思いでいっぱいです。望月先生は、お会いするといつもにこやかにお話をされ周りを大きく包むような包容力のある方でした。また、本会の理事会や職能委員会などで上京される際はいつも大きな荷物で、山梨県の銘菓や名産品といったお土産をたくさんお持ちになり、参加する方への気配りを忘れない優しい方であったと伺っています。

しかし、仕事のこととなると、とてもエネルギーな行動力をお持ちで、力強いパワーを発揮される頼もしい方でした。そのご功績として、母子保健の水準の向上や、住民の健康の保持増進に寄与する愛育班活動をライフワークとして全国に先駆けた取り組みの評価も高く、多大なご貢献を残されております。さらに、日本看護協会においては、保健師部会でのご活動はもとより、地区理事、保健師職能理事、副会長と長きにわたり、重要な役割を担ってこられました。保健師職能理事として、地域保健法の全面施行にあつての業務指導を全国で行い、また、住民や他職種とともに健康課題に取り組み新たな地域保健活動や、保健師の役割と機能の確立において残されたご功績は非常に大きいと存じております。

先月、本会の地区別会議が無事に終わりました。その地区別会議でのエピソードとして、望月先生は、懇親会では必ず「シャボン玉とんだ」を可愛く踊り、そして最後には参加者全員が輪になって手を繋ぎ「星影のワルツ」と「今日の日はさようなら」を歌って、会を締められたと聞きました。とても懇親会らしく、みんなの心が一つになれたと当時の参加者はなつかしくお話をされていました。

最後に、望月先生のこれまでのお導きに心より感謝申し上げ、「今日の日はさようなら」の歌詞を添えてお別れの言葉といたします。

♪いつまでも絶えることなく 友達でいよう 明日の日を夢見て 希望の道を
今日の日はさようなら また会う日まで・・・

望月先生、本当にありがとうございました。どうか安らかに眠りください。

その他寄せられたメッセージ等は望月弘子名誉会長コーナーでご紹介しています。

レーネ・ホレンナー様

哀悼の辞—お別れにあたって

遠いデンマークの地で、悲嘆にくれて
最愛のそしてかけがいのない友、弘子との別れを受容しようとしています。

弘子、あなたとの出会いは25年以上もの時をさかのぼります。
それは、天からの尊い贈り物であり、看護とともに患す朋友、洞察力に優れた、誰よりも大切な弘子、あなたとの生涯の友情の始まりでした。

私たちは、在宅看護と高齢者看護にともに情熱を注いできました。高齢者がその生涯を、
終焉に至るまで最前列で生き生きと活動できるようにエンパワーする高齢者看護です。

弘子、あなたは常に先見の明を持っていました。そういう中で、私たちは、これまで考えて
きたこと以上に緊急に検討し、取り組まなくてはならないケアの領域を見出したのです。
それは、「人々が生きて、死ぬまで自分の足で立つことができるようになる」という看護師
の役割です。それは、あなたが体現して見せてくれたことでもあります。

あなたは、私を助まし、本を書くように促してくれました。日本の看護学生のためのリハ
ビリテーションに関する本です。

昨年12月に伺った際には、全ての看護師の役割としてのリハビリテーションについて懸
念を交わしました。患者のリハビリのためのトレーニングを常に意識した看護をすること。
世界中のすべての看護師の責務です。

弘子、あなたはすべての看護師のロールモデルです。「人は、皆、最期の日まで、活動をし
て、幸せに、そして自らの足で立って生きることを望んでいるのです。」

弘子、あなたはその道を私たちに示してくれました。長期にわたる病のなかでのリハビリ
—その最期の日まで。

あなたは、私の心の中で特別な存在です。
う、私の心の中は、あなたとのすばらしい親交の思い出ばかりが行きかっています。

コロナ禍のため懇話会に伺うことができなかったデンマークの旧友
LENE HOLLÄNDER



叙勲祝賀会
レーネ・
ホレンナー
先生と

紹介

偲ぶ会で上映され感動を呼んだ
望月弘子名誉会長の功績をまとめ
た、DVD(23分)です。ご希望者には、
貸し出しも致します。

ドキュメント
—夢に向かって熱く生きた—
愛育と看護の星 望月弘子
脚本・演出 水木 亮



archive
アーカイブ

在りし日の 望月名誉会長の 思い出の記録



県政功労者
表彰受賞式



街頭キャンペーン 天野知事と



感謝のつどい 全員で合唱



看護教育研修センター 工事見学



笑顔のすてきな先生



感謝のつどい 「星影のワルツ」を唄う名誉会長



創立50周年記念「今日の日はさようなら」

154人の
産声響く!

都留市立病院 分娩再開の取り組み

2021年は、子どもの誕生が少ないと懸念されています。これも、COVIDの影響! どんな時も、安心して子どもを産み育てられる社会でありたいです。

都留市立病院から、明るいニュースをお届けします。

都留市立病院 副看護部長 村上真美



当院は山梨県東部に位置する都留市の公立病院です。

2008年3月までの7年間分娩を行っていましたが、産婦人科医の減少を理由に分娩休止を余儀なくされました。

分娩休止後、再開への足掛かりとして看護師2人が助産師免許を取得しました。産婦人科外来では相談業務を行う助産師を配置し、山梨赤十字病院、山梨大学附属病院の先生方のご協力を得て診療を続け、山梨赤十字病院のセミオープン施設として役割を担っていました。また、都留市と連携し病院から新生児全戸訪問事業に出たり、思春期教育の授業に行く活動も始めました。

分娩再開は地域から強い要望がありましたが、それは夢の話だと思っていました。しかし2016年5月に分娩再開のニュースを聞くことになり、山梨県看護協会助産師研修支援事業に参加し、助産師2人が山梨大学附属病院と県立中央病院で研修をさせていただきました。

病院では「2019年2月分娩再開」という目標に向け、

助産師の採用を始め、院内各科でワーキンググループを発足し、院内準備委員会も重ねていきました。

病棟では小児科混合病棟から産婦人科を加えた病棟に転換するため、まずは分娩室に山積みされていた物品を片づけ、改装、修繕を行いながら準備を進めていきました。助産師が中心となり、勉強会やシミュレーションなどの企画運営、マニュアルの整備などを計画的に進め、病棟看護師も自己研鑽に努めていきました。

分娩再開から1年7か月が経過し、今年9月までに154人の産声を聞くことができました。この場をお借りしまして、研修をはじめ、ご支援をいただきました皆様に心より御礼申し上げます。

現在病棟では小児科、産婦人科それぞれのレベルアップを図りながら、災害、5S、勉強会、業務改善の分野にも分かれて活動を行っています。社会全体の問題として少子高齢化、さらには家族の在り方の変化、価値観の多様性などから、出産前からの切れ目のない支援の必要性を痛感しています。妊産褥婦アセスメントシートを作成し活用し始めているところです。

当院の強みは子育て経験や人生経験豊富なスタッフが揃っていることと、地域と連携できる環境が整っていることだと思っています。新型コロナウイルス感染症対策、混合病棟の病床管理など、日々尽きない悩みがありますが、当院の強みを活かし、今後も安全安心な分娩ができることと地域住民に頼りにされることを目標に、全員で頑張っていきたいと思っています。



なかなか全員で集まらない今日この頃・・・



退院するお母さんと赤ちゃんに記念に

シリーズ第13弾 災害対策

いつ起こるかわからない災害。自然災害だけでなく、COVID-19感染拡大による医療逼迫への支援もあります。平時からの備えや、繰り返しの訓練は重要です。

災害時に車両確保を することができました

これまで、山梨県看護協会では、県内外で災害発生時に、災害支援ナースを派遣する際に、移動手段が課題でした。

この度、令和2年9月11日に、甲信マツダ（本社：長野市 神野道弘社長）と災害時の車両提供に関する協定を結ぶことができました。

協定内容は、災害発生時に災害支援ナースの派遣や物資の輸送などを円滑に行うため、甲信マツダが当協会に車両を無償で提供してくれるというものです。提供車両は上限3台、期間は1か月とし、いずれも状況によっては、双方協議の上で、増台や期間の延長も可能となっています。



山梨県地震防災訓練に参加して

コロナ禍での
地震防災訓練へ
災害支援ナースの参加

山梨県看護協会は、平成29年度から、県の地震防災訓練に災害支援ナースの訓練と周知を目的に参加しています。さらに、平成30年度からは、事前会議から加わっています。今年度は、11月22日(日)山梨県と富士川町が富士川・鯉沢小中学校他で、地震防災訓練を実施しました。看護協会から、災害支援ナース4人と担当が、福祉避難所と疑似感染隔離場所の2カ所に参加しました。

今年度の訓練は、コロナ禍での地震発生を想定して、疑似感染隔離場所設営訓練が行われ、支援ナース2人と担当(保健師)の3人が従事しました。

訓練内容は、総合受付で、発熱や風邪症状、倦怠感等によりトリアージされた住民が、専用通路にて疑似感染隔離場所へ移動。→疑似感染隔離場所入り口で、BpIキット着用の災害支援ナースが問診を行う。→疑似感染隔離場所では、パーテーションで仕切られた段ボールベッドを設置し各々静養。→定期的に状態観察を行う。これらの一連の手順と、隔離

場所の設営等について確認しました。

BpIキットの着脱については、DVDを視聴しながら実施しましたが、事前に災害看護委員会で経験のある委員から講習を受けていたので、円滑に実施することができました。今回訓練で実際に着用してみても、ゴーグルがくもり動静が阻まれ大変苦慮したことや、脱衣の際に正しい手技と細心の注意が必要であることを実感しました。

(災害看護委員会「災害支援ナース」)



＝特集＝

コロナに
負けるな
いま私たちに
できること

COVID-19に係る沖縄県 看護師派遣の経験からの学び



テレビの取材に答える



師長・
看護部長の激励

山梨県から「新型コロナウイルス感染症にかかる沖縄県への応援派遣」の要請があり、山梨県立中央病院から私を含め2人の看護師が派遣された。当時沖縄県内では新型コロナウイルス感染症患者が急増し、私が派遣された病院は多くの患者・スタッフが新型コロナウイルスに感染していた。派遣先の病棟はクラスターが発生し、人員不足となっていた。また、感染対策に必要なフェイスシールド、袖付きガウン、キャップ等の必要物品が不足していた。さらに台風9号・10号の影響もあり当院へ依頼した物品がタイムリーに届かない状況があった。派遣先の病棟は療養型の病棟であり、陰圧室は設置されていなかった。新型コロナウイルス感染症患者と濃厚接触者のゾーニングはパーティション1枚で区切られた状況であった。

私は主に濃厚接触者の看護業務や環境整備に加え、台風対策を行った。私が普段働く集中治療室とは全く異なり、人員・物品も限られていた。クラスターの発生した環境の中で、患者・スタッフに新たな感染者が発生しないよう、現地のスタッフと感染対策について検討しディスカッションしながら業務を遂行した。例えば、キャップが不足して

沖縄県から全国知事会への要請により、8月27日～9月9日までの間、院内クラスターが発生し医療が逼迫していた宜野座村の病院へ、県立中央病院より2人の看護師が派遣されました。初めて災害看護支援ともいえる体験をした有泉凱さんから報告していただきます。

山梨県立中央病院 集中治療室 看護師 有泉 凱



いる時には、自分自身の髪の毛に触れないことの根拠を伝え対策をした。限られた物資の中で可能な限りの感染対策ができるよう取り組みを行い、新たな新型コロナウイルス感染症患者の発生はなく派遣業務の役割を遂行できた。また沖縄県派遣中も自部署、山梨県立中央病院の後方支援は大きく、現地での活動の大きな支えとなった。

今回の経験から感染対策には、知識、技術が重要だと改めて感じた。山梨県立中央病院では感染対策についての教育、対応が徹底されており、私自身も感染対策を学んできた。今回はクラスターの発生した病棟で、新型コロナウイルス感染症患者・濃厚接触者に対し、通常とは異なる環境での看護業務だったが、日々培った知識や技術を活用できたことで、患者や現地スタッフ、派遣スタッフ共に、新たな感染がなく業務の遂行ができた。医療に従事している全ての関係者が新たな感染の発生を防ぐという意識を持ち続け、感染対策と看護業務を実践し続けることが感染対策には重要だと感じた。今回、他院の医療に実際に触れることができ、山梨県立中央病院の恵まれている環境を実感した。今後も環境に甘えることなく、常に学ぶ姿勢を持ち看護実践に取り組んでいきたい。今回の貴重な経験を患者・スタッフへ還元できるよう沖縄派遣の経験を語ってみたい。



派遣先
沖縄の病院にて

Thank you!!

私たち医療従事者に
いろいろな形のエールが
届きました!



一晩で描かれた「ありがとう」のメッセージ

コロナに
負けるな
いま私たちに
できること

(COVID-19)

新型コロナウイルス感染症禍での 教育への取り組みと課題について



授業前の玄関前のアルコール手指消毒

本学では、3年生の臨地実習と並行し新学期の授業準備をしていた2020年1月下旬、大学本部からのCOVID-19予防対策の注意喚起を受け、実習中の学生の健康管理と手洗い、マスク等の感染予防対策を開始しました。また併せて、文部科学省から発出された医療関係職種の学校養成所の感染症対策等への対応通知等を基に、新学期を迎える準備を行いました。

健康科学大学看護学部看護学科 准教授 小林 美雪



感染症予防のための3密
(密閉空間・密集場所・密接
場面)を作らない原則により、

前期の授業や実習の多くを遠隔授業に切り替えました。そして、学生の通信環境の整備や教員間での遠隔授業配信のための学習会の実施と共に、感染対策として、学内授業時の健康チェック、手指消毒方法や使用教室・共有スペースの消毒方法のマニュアル作成と周知を行いました。これらは、感染症、感染看護を専門とする医師、認定看護師資格の教員、保健師等により構成した感染症対策WGで検討され、学生、教員、事務員一丸となり現在も継続して実施しています。

遠隔授業となり、従来、対面授業で学生の発言や表情、姿勢等から把握できた授業の理解度を、画面上あるいは声だけで知ることは難しいと感じています。特に新入生は、入学時オリエンテーション以降、遠隔授業での学習が中心となったことから、仲間作り、教員との交流、大学環境への適応が行えない状況での授業開始でした。そのため、本学では従来の学生の個別相談に対応する担任制を強化し、メール、Microsoft Teams、電話等の通信方法を駆使して、教員から積極的に情報を発信し、相談を受け付け、学生の心身のサポートを行っています。

同年8月以降は、学生、教員共に感染管理を適切に行い、対面授業での学習が順次再開されています。実習は受け入れ機関の状況を鑑みて学内実施に切り替え、実施方法の変更を余儀なくされる状況でしたが、現在は、教育の質を担保する取り組みが可能であることを実感しています。4年次の

看護総合実習も学内実施に移行しました。学生は、Teamsによる看護管理者や感染管理者・医療安全管理者等からの特別講義の受講後に、フェイスシールドとマスクを装着した対面での多重業務対応のシミュレーション実習に取り組みました。全学部教員が患者役とファシリテーターを担当し、戸惑いながらも懸命に看護展開する学生に厳しくも温かい教育的なフィードバックを行いました。学生からは、「看護管理の講義で学んだ“優先順位を決める判断力の必要性”を痛感した」「患者の安全確保が難しかった」「先生方からの適切な助言が励みになった」等多くの学びが聞かれました。

文部科学省は、授業も実習も対面授業に相当する教育効果を有する教育方法を求めています。今後もCOVID-19の感染状況の推移により、教育方法や授業形態の更なる変更が求められるかもしれません。今回の感染対策の過程で検討を重ね獲得した、教育の在り方やノウハウを活かし、学生の様々な声を聴きながら、全教員でさらに効果的な授業や実習の展開を考え続けたいと思います。



登校時の健康チェック



看護総合実習 多重業務課題の一場面
(学生も教員もマスクとフェイスシールドを付けて)



青くライトアップされた県庁



外食を控え自宅で BBQ



手作りマスクが届きました。





ONE TEAM(ワンチーム)で 取り組む地域づくり

中北保健福祉事務所 健康支援課長 飯島 俊美

中北保健福祉事務所（中北保健所）は、組織の再編により、令和2年4月1日から中北保健所本所と峡北支所が統合され、事務所の所在地は葦崎市にある北巨摩合同庁舎に移りました。

管轄市町は、県内人口の約33%を占める、5市1町です。公衆衛生看護職である保健師が11人おり、技術管理職を筆頭に所内3課に分散配置されています。

私達の業務はヘルスプロモーションの理念に基づく、健康を支援する環境づくりや在宅療養者の望む医療と介護の体制整備、災害や感染症などの健康危機管理対応などです。活動は、圏域の健康課題を明確にし、方策を市町、関係者、機関と検討する“場”を通じて圏域に必要な保健医療福祉の施策を提案し、課題解決のために共に取り組んでいます。

また、長期化する新型コロナウイルス感染症については、心強いことに相談業務に一線を退いた看護職の先輩の協力もいただいて対応しています。

今後も市町、医療機関、企業、住民組織等と連携・協働して皆様がここに生まれ住んでいて良かったと思えるよう、公衆衛生の拠点として、県民のいのち、健康と暮らしを守る活動を継続していきたいと思えます。



多事業・多職種協働で 最期のときまで支えていきます

訪問看護ステーションいけだ 所長 中村 弥生

訪問看護ステーションいけだは開設6年目。看護師12人、理学療法士・作業療法士5人が在籍しています。所属する共立介護福祉センターいけだは7事業を擁する複合型施設であり、看護小規模多機能型居宅介護と一体的な管理、定期巡回随時対応型訪問介護看護の連携ステーションとして役割を果たしています。法人内の特養、ショートステイ、グループホームと連携を図り、がんを始めとした終末期の方の看取りまでを介護職員と共に支えています。リハ職員との協働では、リハの生活環境への助言とリハビリテーション、看護との協働により、退院後のスムーズな在宅生活への移行支援と自立支援にも力を入れています。

開設時から、「最期の時まで口から食べられる」をテーマに、「摂食嚥下における看護の質を高める研修プログラム」を立ち上げ学習をしてきました。多職種が所属する施設であり、看護師の役割も多く大変な面もありますが、多職種から学ぶ事も沢山あり、和気あいあいと楽しく、看護活動ができています。

Web開催がスタンダードに!?

シリーズ 看護研究 のコツ

No.22



山梨看護学会委員会
担当/山梨県看護協会
教育部

山梨看護学会委員会は、今年度の学会開催方法について何度も議論を重ね、最終的にWeb公開とし、12月7日～25日を視聴期間として開催しました。従来の口演あるいは示説の発表形式を変更し、ナレーションを記録したスライドを用いて発表していただきました。委員会活動の一環として、演者（共同研究者を含む）に向けて、発表資料作成のための説明会および個別相談会を開催しました。動画ファイル(ビデオ)に変換して提出する方法を解説する、実際に声の録音を試す、パワーポイントの体裁や見栄えに対して助言する等の支援を行いました。今年の学会参加は、視聴期間に山梨県看護協会ホームページにアクセスし、パスワードを用いて視聴する方法としました。COVID-19の収束が見えない時期であり、多くの不安を抱えての開催でしたが、山梨看護学会での発表に向けて準備されていた看護職のために、Webでも開催することができた手応えを感じています。現在、多くの学会や会議、セミナー等がオンラインで開催されていますので、積極的に参加されることをお勧めするとともに、どのような社会情勢であっても、看護研究を継続していただき、ご自身の研究成果を広く発表していただきたいと思えます。

ナースのママ・パパ奮闘記

職場の後押しを受け、育休を取得し日々育児に奮闘する新米パパ、高取さんをご紹介します。



育児は一日にして成らず

山梨県立大学 看護学部 高取 充祥



結婚7年目、令和Babyとして12月に待望の長男が生まれた。同時にCOVID-19は医療界に激震をもたらし、県立中央病院で感染管理認定看護師として働く妻は、産後4か月で第一線に戻る決意をした裏側で、私は約半年の育児休業を取得することを決めた。

4兄弟で育った経験やもともと子ども好きな性格であることから、“母乳が出ない以外は何も問題ない。一通りの家事もできるし、日中に余った時間は何をしよう。論文でも書かか。”と心の中で考えていた。また、高度救命救急センターで小児科を看た臨床経験があったこと、生まれてからの3か月間で育児を手伝ってきた自負があったことが謎の自信につながっていた。こうして、息子と父の二人だけの生活が始まった。

育児生活初日、謎の自信はあっけなく打ち碎かれた。妻の職場へ通う授乳時間以外、自由と思っていた時間に自由という言葉は見当たらなかった。1人での育児では、行きたい時にトイレにも行けず、座ってご飯を食べる時間すらなかった。背中に離床センサーとは逆の“着床センサー”があり、寝かすとすぐに泣くことから朝5時の起床から妻が帰宅するまで抱っこの日々



…。瞬間移動の如く気づくと階段を上り始め、後頭部保護した矢先に前から転んで顔面外傷など、常に転倒転落アセスメントスコア危険度MAX。一番応えたのは、本能のみで行動する息子に対してのコミュニケーションは

常に一方通行であり、COVID-19の影響もあり社会から孤立したことはマズローの生理的欲求だけでなく、社会的欲求、承認欲求、自己実現の欲求が満たされないことへとつながった。十分なコーピング行動もできないため妻に当たることもあり、夫婦や家族の協力の大切さを痛感した。もしタイムマシーンがあれば、育児休業中の妻に「毎日暇でいいね。」と言っていた自分に『わびろ！わびろ！詫びろ！』と伝えたい。さらに、妻が夜中に授乳している際に起きているアピールしたあげく、土日に疲れて寝ている自分に、土日に育児を頑張り、妻を休ませることが鍵だよと教えたい…。その一方、辛いことだけではなく、日々成長する息子の些細な一面や、喜怒哀楽に気づけたことは、唯一無二の体験へとつながった。

最後に、育児休業はいつでも取得できるわけではありません。このかけがえのない時間は私にとって“人生観が変わる体験”となりました。育児休業取得の背中を押してくれた職場の皆様へ感謝し、まだまだ迷惑をかけることもあります『恩返し』していきたいと思っています。そして、日本においてはまだまだ男性の育児休業取得率や育児参加率が低い現状があります。既成概念にとらわれず、子育てがもっとしやすい国、環境になることを切に願うと共に、一石を投げられるよう大学で教育・研究活動に取り組んでいきたいと思っています。



令和2年度 理事会報告

以下について承認されました。

第6回
令和2年11月11日(水)

- 協議事項
1. 公益法人に係る変更届出について
 2. 令和2年度補正予算について
 3. 債券の買換えについて
 4. 令和3年度日本看護協会改選役員・推薦委員候補者の推薦について
 5. 日本看護協会会長表彰候補者・日本看護協会名誉会員候補者の推薦について
 6. 令和2年叙勲祝賀会について



山梨県看護協会

INFORMATION

■ おすすめの1冊

ステイホームが多い毎日に、心とむ1冊を紹介しします。毎日1ページの学び！自分の看護広く深く豊かに！看護界の巨人が贈る 366日“ぐっとくる言葉”！

「川嶋みどり 看護の羅針盤 366の言葉」

— 平和を守り抜くことは、人間の生きることへの保障でありより良い看護の実践は平和であってこそ達成可能な課題である —

(1月1日)

ライフサポート社



■ 潜在看護職のみなさまに朗報です！

そろそろ職場復帰したいけど・・・
コロナ禍の中、役に立ちたいけど・・・
少しの時間なら働けるけど・・・等々
ナースセンターでは、県内の感染管理認定看護師のみなさまによる感染症対策のDVDを作成しました。感染症予防対策の基本が学べます。

三河貴裕医師監修です。

好きな時間に、何度でも自分のペースで学習することができます。

ご友人や知人にも是非とも情報提供をしてください。

問い合わせ先：055-226-0110
(ナースセンター)

■ 2021年度の入会・継続の手続きが始まっています。

2021年度(令和3年)の入会・継続の手続きが始まっています。2020年度会員の皆様には、日本看護協会から「継続のお願い」が郵送されますので、お手元に届き次第ご開封ください。会員情報に変更がない方は、手続き不要で自動継続となります。情報を変更される方は、早めにお手続きをお願いいたします。新規に入会を希望される方で、入会申込書をご入用の方は山梨県看護協会会員担当までご連絡ください。また、2021年4月以降、他県に転出予定のある方は転出先の都道府県看護協会に入会のお手続きをお願いいたします。

TEL 055-226-4288 (会員担当)

※情報変更、入会申込書の郵送先は、日本看護協会・都道府県看護協会会員登録事務局になります。山梨県看護協会ではありませんので、ご注意ください。

■ Nursing Nowキャンペーン 2021年6月まで展開します

看護職が持つ可能性を最大限に発揮し看護職が健康課題への取り組みの中心に立ち人々の健康向上に貢献するために行動します。



投稿者：小宮山裕子(教育部) 柴犬 葵 3才

※ホッとする写真などの投稿を受け付けます。ぜひお寄せください。



公益社団法人
山梨県看護協会

令和3年度 通常総会は、令和3年6月18日(金)午後を予定しています。

【表紙スナップ・武川病院看護科】

武川病院は、昭和町で唯一病床を持つ一般病院です。地域との繋がりを大切に慢性疾患から手術まで患者さんの回復を支援します。

イオンモール昭和のすぐ近くに建ち、賑わいのある地域で活動しています。



編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。COVID-19により不安定な社会の中会員のみなさまに少しでも明るいニュースが届けられるよう企画を考えていきたいと思っております。みなさまのご健勝とご活躍を心よりお祈りいたします。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

